

研究シーズのタイトル

まばたきの研究とペアレントトレーニングの研究

研究者名

福田 恭介

所属

人間社会学部

研究シーズの専門分野

認知心理学, 生理心理学, 教育心理学, 臨床心理学

研究シーズのキーワード

まばたきと認知過程, まばたき発生のタイミングと発達, ペアレントトレーニングの啓発, ペアレントトレーニングからティーチャートレーニングへ

研究シーズの概要

①「目は口ほどに物を言う」という諺がありますが、「まばたきは口ほどに物を言うのか」ということを研究しています。まばたきは1分間に約20回発生しますが、それらは物事を認識したり、記憶システムにアクセスしたりしているときに発生し、待ち構えているときには抑制されることを発見しました。これらのまばたきは脳のリセットと関連していることが示されています。これらを利用して、まばたきタイミングを発達のアセスメントとして利用できないかを研究しています。②ペアレントトレーニングについて研究・実践を行ってきています。ペアレントトレーニングで親に子どもの行動の観察・記録を求めていくと、親の行動が変わり、それによって子どもの行動が変わり、穏やかな親子関係を築けることが示してきました。その成果を保育園・幼稚園や学校の先生方にも応用できないかとティーチャートレーニングについても取り組んでいます。

研究シーズの適用分野

まばたきタイミングの心理過程。ペアレントトレーニングからティーチャートレーニングへ。

共同研究が期待される外部機関

福祉施設／幼稚園・保育所／学校 等